

Sankka

讃歌
春号

京都九条病院 Communication Book

特集 循環器科 心血管センター

心血管センターは、
心筋梗塞を治療する
エキスパート集団です。

特集 乳ガン検診が安心して受けていただけます

早期発見のために、
ぜひ乳ガン検診をお受けください。

特集 新しいエックス線透視撮影装置

患者さんのご負担を大幅に軽減した、
X線透視撮影装置。

コミュニケーション広場

知ってよかった「お薬豆知識」講座 第6講目

暮らしの中で病気予防「健康ライフ」講座 第3講目

ドクターの「プライベート拝見」数珠つなぎ 第7弾

私の病院自慢あれこれ 第7回

院内散策

第1回京都九条病院

病診・病病連携セミナー



循環器科
心血管センター長 羽田哲也



院長 山木垂水

vol.7
2007 Spring
春号



特集 1 循環器科 心血管センター

心血管センターは、 心筋梗塞を治療する エキスパート集団です。

直径2.0mmの心臓カテーテルを駆使して、
検査・治療を行います。

京都九条病院の心血管センターが治療に当たるのは、主に心筋梗塞、狭心症など虚血性心疾患の患者さんです。心筋梗塞は、心筋（心臓の筋肉）へ酸素、栄養を運ぶ冠状動脈の動脈硬化によって血栓（血のかたまり）ができて血液が流れなくなり、心筋の細胞が壊死してしまうという疾患です。狭心症は、冠状動脈が詰まってしまつ前の、血管が細くなって血の

流れが悪くなる症状をいい、これらを合わせて虚血性心疾患と呼んでいます。

動脈硬化
動脈は、心臓が強い力で押し出した血液が流れの弾力性（柔軟性）を持ち合わせています。ところがこの動脈の層が厚く、なったり硬くなったりして弾力性や柔軟性を失なうた状態を動脈硬化といいます。



虚血性心疾患には手術や薬物療法などの治療法がありますが、私は心臓カテーテルを駆使して治療しています。レントゲン画像を見ながら、直径2.0mmほどのカテーテル（管）を手首や大腿部の付け根などの血管から心臓の冠動脈まで挿入して、血管が狭まっている部分や血栓ができている部分を見つけて出し、バルーンカテーテルという大きさ3.0mmほどの風船をふくらませて血管の細くなった部分を広げ、血栓がある場合はそれを取り除きます。さらに、いれたん広げた血管が再び狭まってくるのを防ぐため、ステントと呼ばれる筒状の金属製メッシュを装着する場合もあります。



OUR HOSPITAL CONCEPT
京都九条病院の基本理念

良質な医療を安定的に提供すること。
さらに常に最大限最高の
医療の提供を目指す
前向きな姿勢を持ち続けること。

OUR HOSPITAL WORKING SPIRIT
京都九条病院で働く人の精神

常に公平、公正な
より良い医療を提供するために、
「奉仕の精神」をもち、病院に関わる
すべての人が一体となって
「人々の健康」に貢献します。



経験豊かなスタッフの技量とチームワークが
治療を支えています。

この治療法は、開胸手術を行う
必要がなく治療時間も短いので
身体への負担が軽くすみますし、
その後の副作用もありません。患
者さんにとって理想的な治療法と
いえるでしょう。そのため、虚血性
心疾患の検査・治療ではこうした
カテーテルを用いた治療法が主流
になってきていますが、この治療法
を行うためには、カテーテルを細い
血管に的確に安全に挿入する技
術に習熟していなければなりません。
その点でも、当院の心血管セン
ターの医師は、高い技術力と経験
を誇っており、安心して治療を受
けていただけます。

しかし、心臓カテーテル治療は
専門医一人で行えるものではありません。
麻酔を管理する医師やペ
ーサーカーや補助循環装置を取
り扱う臨床工学技士、さらに看
護師、臨床検査技師や放射線技
師などそれぞれのエキスパートに
よるサポートが不可欠です。心血
管センターには経験豊かなスタッ
フが揃っているうえ、お互い毎日顔
を合わせて仕事をしているのでチ
ームワークもバグンです。
また、大学病院のようにややこ
しい手続きなしに、さうと皆が集
まり、すぐ治療態勢がとれるのも
京都九条病院のよさです。心筋梗
塞を起こした場合、できるだけ早
く治療を行うことが大切です。こ
こでは、救急で運ばれてきた患者
さんがまず集中治療室で救命措



全身の血管が撮影できる血管撮影装置

置を受けた後、血管内治療を要
すると判断された場合は、そのま
ま集中治療室の二画に設けられた
心血管センターで心臓カテーテル

心筋梗塞についての情報を発信し、
予防を進めていくのがこれからの課題です。

心筋梗塞は死に至ることも珍
しくない危険な病気です。また、
たとえ治療に成功しても心臓が
まったく元の通りに戻るわけでは
ありません。以前は、血管の老化
現象である動脈硬化が主な原因
とされ、高齢者特有の疾患とされ
てきましたが、現在では20〜
30歳代でも心筋梗塞を起こす
人が出てきています。これには、コ
レステロールの多い食生活や運動
不足、喫煙やストレスなどが影響
していると考えられ、その意味で

治療を行うことができ、早ければ、
到着から1〜2時間で治療をす
ることが出来ます。

生活習慣病の一つとも言えます。

こうした生活スタイルを見直す
ことが一番の予防法ですが、心筋
梗塞が起こる前には、冷や汗が出
る、階段を登っただけで息切れが
するなど、何らかの警告のサイン
が出ていることが多く、せめてその
段階で病院に来て治療を受けてい
ただければ、危険を回避すること
ができます。これからは、治療を
進めると並行して、そういった前
段階治療の啓蒙活動にも力を入
れていきたいと考えています。



Tetsuya
Hata

京都九条病院 循環器科 心血管センター長
羽田 哲也



マンモグラフィ装置

【特集】2 乳ガン検診が安心して受けていただけます

早期発見のために、 ぜひ乳ガン検診を お受けください。

日本では年々乳ガンにかかる人が増えており、いまや胃ガンの患者数をしのぐとも言われています。食生活の変化や出産年齢の上昇などが関係していると考えられ、罹患する年齢層の幅も広まっています。

乳ガンは発見が早ければ早いほど、治癒率が高まる病気です。早期発見なら乳房を切除せず治療する方法もあり、手術も軽くすみませんが、発見が遅れると命まで失いかねません。ですから、何より早期発見が大切なのです。そのため、国や地方自治体も早めの検診を呼びかけていますが、欧米に比べてまだまだその危険性に対する意識が低く、検診率も低いのが現状です。当院では、できるだけたくさんの方に気軽に乳ガン検診を受けていただけるよう、12月に高画質・高性能のマンモグラフィ装置を同仁会



京都九条病院はピンクリボン活動を応援しています。

クリニック内に導入いたしました。このマンモグラフィ装置を使った検査では、小さなしこりや乳ガンの初期症状である微小な石灰化を見つけることが可能となり、触診やエコー検査では難しかった早期発見が可能となりました。また、当院では女性である私が検診を担当、検診



私が検査を担当しています。
お気軽にご相談ください。

京都九条病院 診療放射線技師 菊元 康子

用の個室も用意するなど、女性が抵抗なく検査を受けられる環境を整えています。この機会にぜひ当院で検診をお受けください。女性全員に検診を受けて頂くのが理想ですが、とくに35歳以上になると罹患率が上がりますので、安心のために定期的な検診をおすすめいたします。

お問い合わせご相談は

京都九条病院 放射線科
担当菊元までご連絡ください。
TEL 075(691)7121

あなたの骨は健康ですか？

骨の密度は20歳前後をピークに年齢とともに低下します。骨密度が低くなると骨折しやすくなり、とくに高齢の女性では骨に鬆が入る骨粗鬆症を発症することもあります。京都九条病院では、骨密度が腕で簡単に測れる骨塩定量測定装置を設置しています。骨の健康管理のため、定期的に骨密度測定を行います。

詳しい内容やご質問は、京都九条病院 放射線科までお気軽にご連絡ください。
TEL 075(691)7121



検査時間は約5分
とっても簡単!!

骨密度
検査





エックス線透視撮影装置「ソニアルビジョンサファイア」

特集 3 新しいエックス線透視撮影装置

患者さんのご負担を 大幅に軽減した、 X線透視撮影装置。

京都九条病院では、平成18年12月、最新式のエックス線透視撮影装置「ソニアルビジョンサファイア」(島津製作所製)を新たに導入いたしました。これは「ベッド」検査台の上に乗せていただくだけで、精度の高い透視・断層画像が得られる検査装置です。大きなフラットパネルを用いているので撮影視野が大きく、広範囲にわたって観察・撮影ができるのも特徴です。

この装置は、胃や腸など消化器官をはじめ、脾臓や肝臓などの検査から整形分野まで、さまざまな領域の検査に威力を発揮します。例えば、肋骨が重なった胸骨部分など、レントゲンでは写りにくい複雑な部位もクリアに映し出すことができます。また、体内に金属製のものがある場合、MRやCTでは金属の影響で画像が乱れるのですが、「ソニアルビジョンサ

ファイア」はそうした影響を受けないため、シャープな画像を得ることができるのです。

当院の整形外科では、膝に「パルトクロム」という合金製の人工関節を用いる高度な手術が多く行われており、こうした患者さんの検査を行う際にも大変有効です。

さらに、フィルムと同等以上の高画質の動画像を映し出せるので、食道から物が飲み込まれていく様子や血管の中を造影剤が流れていく

京都九条病院 検査部長 渡里 弘



様子を観察したり、膝関節の動態検査をしたりすることも可能です。もっとも大きなメリットは、検査を受けていただく際の患者さんの負担が大幅に軽減されたことです。ベッド(検査台)が上下に動くので、高齢の方にもやさしく、車椅子をご利用の方も車椅子に座ったままで検査を受けることができます。また、一回の撮影で何層もの断層撮影ができるので、一断面毎に撮影しなければならなかった以前の機器に比べて、被曝線量も格段に低くなり検査時間も短縮されました。

当院では、先行して画像診断装置を数台導入しておりますが、これらの最新機器も合わせて適切に活用し、さらに検査のスピード、精度をアップしていきたいと思っています。

当院では、先行して画像診断装置を数台導入しておりますが、これらの最新機器も合わせて適切に活用し、さらに検査のスピード、精度をアップしていきたいと思っています。



乳ガン検診・骨密度検査に関するご質問、ご相談はお気軽に下記までご連絡ください。

医療法人同仁会(社団)

京都九条病院 放射線科

TEL.075-691-7121

京都九条病院は患者さまの個人情報保護に全力で取り組んでいます。
(詳しくはホームページをご覧ください。)

MEDICINE
for **H**EALTH

知ってよかった「お薬豆知識」講座

講師：京都九条病院 薬剤部長

友沢 明徳
Akinori Tomozawa

のみ合わせには
ご注意!
くすりと食事の関係
その



食事とお薬の関係のうち、前回はお薬をのむタイミングのお話でしたが今回は、のみ合わせについてです。

食入物同士で、うなぎと梅干のような、食べ合わせがあるように、お薬同士でも、のみ合わせがあります。これを特に「相互作用」といい、互いに作用を強めたり弱めたりして副作用が現れたり効きが悪くなるという、治療に不都合な作用を指します。最近注目されているのが飲食物とお薬の相互作用です。

「医食同源」というように、元々お薬と飲食物の境目はさほどはっきりしたものではありません。健康食品やサプリメントはその境目のものといえますね。これらの組み合わせをすべて知るのは無理ですが、問題になる例はそう多くはないのでポイントだけを簡

単にご紹介します。

- (1)のみ合わせが起きやすい飲食物は同時に摂らない
牛乳、アルコール、酸味の強い果汁が代表例です。脂っこい食事が影響すること。
- (2)サプリメントや健康食品も要注意
ビタミンやミネラルの摂り過ぎでお薬の効果や検査に影響するかも。生活習慣病などでは適切な食事療法がお薬以上に大事。食事とのバランスにも気をつけて。
- (3)薬の説明書を良く読む
悪い組合せがあれば載ります。血液を固まりにくくする薬ワルファリンカリウムや納豆・クロレバ、青汁、高血圧治療薬の一部とグレープフルーツジュースなどが代表的。
- (4)薬剤師・栄養士の活用を
気をつけるといわれても具体的に困るもの。行き過ぎ

た自己判断も危険です。あくまで自己健康管理の手段としてですが、専門家を「気軽に使う」ことが大切です。専門家には答える義務があります。本当に遠慮なく声をかけて下さい。少なくともすべての健康情報番組よりは役に立つと思いますよ。



NURSING
for **H**EALTH

暮らしの中で病予防「健康ライフ」講座

京都九条病院 看護部ICU病棟 看護師

高橋 美香
Mika Takabashi



脳卒中のことなら
わたしたちにお任せ!



当院では脳卒中専門医療チームが活躍しています。脳卒中は、癌、心臓病とならぶ三大疾病の一つです。発症後出来る限り早く脳卒中専門病棟で治療を受けることで、死亡率の減少、入院期間の短縮、自宅への退院率の増加などといったメリットがあるといわれています。

しかし、大事なことは脳卒中にならないようにする事です。脳卒中の原因には、高血圧、高脂血症、糖尿病などの生活習慣病があげられます。毎日の生活を規則正しく送り生活習慣病を予防していくことが脳卒中の予防にも繋がるといわれています。

でも普段の生活に気を配っていても病にかかるとはあります。「あれ？何かおかしいな...」と思ったら、その時は早めの受診が肝心です！特に、

次のような症状があった場合には、脳卒中の疑いが高いので、早急に当院を受診して下さい。

- (1) 急に顔の半分、片方の手足がしびれる、動かない。
- (2) 突然意識がおかしくなる、言葉が出ない、他人の言う事が理解出来ない。
- (3) 急に片方あるいは両方の目が見えにくくなる、視野が狭くなる。
- (4) 突然のめまい、力はあるのにバランスがとれず立てない、歩けない、手足がうまく動かせない。
- (5) 原因不明の突然の激しい頭痛。

そして万が一、脳卒中の診断を受けたとしても、わたしたち脳卒中専門医療チームのスタッフの確かな判断と、素早

い対応で患者さんに最善の医療を提供します。

脳卒中専門医療チームのスタッフは医師、看護師、作業療法士、社会福祉士他様々な専門分野のスタッフが構成されています。そのため入院中から退院後まで安心して治療を受けて頂けます。わたしたちは常に患者さんご家族様と同じ目標に向かって援助していくことを大切にしたいと思っています。

これからも入院から退院まで患者さんに寄り添える医療者でありたいと思います。

脳卒中
脳の血管がもたたり破れたりしてその先の細胞に栄養が届かなくなり、細胞が死んでしまう病態。



FACE
of DOCTOR

ドクターの「プライベート拝見」数珠つなぎ

京都九条病院 内科
芝田 康子先生
Yasuko Shibata



自慢は
信頼感で結ばれた仲良し家族。
コミュニケーションを
大切にしています。



わが家の癒し犬ナンシー。ネコが小さいときは母孫わりにもあってくれた頼りがある犬です。散歩は子どもたちと散歩を決めて連れていきます。



とまかく仲のいい家族です。よく会話をしますね。とくに真ん中の娘は仕事の話なども聞いてくれますしアドバイスをくれたりして、もうすっかり大人同士という感じです。子育てはどちらかというと放任主義かな。実は、長男が小さい頃はけっこう叱っていたんです。でも、いくら親がお説教しても結局本人がやる気にならないとムダだということがわかって言わなくなりました。いちいち注意しなくても、子どもはこちらが信頼すると応えてくれるものだと思えますから。そんなわが家の潤滑油になってくれているのが愛犬のナンシーです。もともと盲導犬用に育てられていたのが、人なつこすぎて脱落してしまっという経

歴の持ち主。とても優しい性格で、落ち込んでいるときには元気をくれるし、家族が口げんかなどをしていると、すーとその場からいなくなるんですよ。犬好きではなかった私ですが、いまでは子どもの一人のようにいとおしく思っています。

仕事と家事の両立で自由な時間がないのが悩み。外国旅行をしたいとか、友人とゆっくり食事をしたいとか願望はたくさんあるんですけどね。とはいえ、子どもたちもそろそろ親離れの時期。親業をしていられるのもそう長くはないでしょうから、家族ですごせる今という時間を大切にしていきたいですね。

LOVE
my HOSPITAL

私の病院自慢あれこれ

病院のここが好き!!
京都九条病院のイイところ。
こんなところがわたしたちの自慢です。

好きな言葉
favorite word
「努力」
高薄 憲吾
検査部 放射線科



ここには大学病院並みの最新機器が揃っているんですよ。精度の高い検査を行えるので、やり甲斐がありますね。入社して8ヶ月目で、全部の機器を使いこなせるところまでは、っていないのですが、先輩たちも丁寧に指導してくれまして、どんどん実践させてくれるので日々鍛えられています。一人で対応しなればならない当直の日は、まだちょっと緊張します。もっと技術を磨いて、どんな症状の患者さんが来られても「どんと来い」と言えるようになりたいですね。

好きな言葉
favorite word
「助け合い」
山内 奈央
リハビリテーション課 クラーク



リハビリテーション課はとまかく明るくて活気があるんです。患者さんのなかには不安を抱えておられたり、精神的に落ち込んでおられる方も多いんですが、スタッフが朗らかに接することで元気になられるんですよ。私の担当は受付業務や患者さんの誘導。リハビリに来られた患者さんのお顔を一番最初に拝見するため、もっと患者さんとのコミュニケーションを大切に、精神面のフォローができるようになりたいと思っています。

好きな言葉
favorite word
「いきいきと」
速水 綾子
看護部 3階病棟 係長



みんなに向上心があり、互いに高め合うところですね。毎月勉強会が行われていますし、カンファレンスも盛んで、治療法などについて話し合うことも多いんです。情報が共有できるだけでなく、新しい知識も得られてとても刺激になります。託児施設が院内にあるのもこの病院のいいところ。小さい子どもがいるのですが、24時間サポートしてくれるので、夜勤や保育園が休みの時はとっても助かります。子供が産まれても安心して働ける、「お母さんに優しい職場」です。

好きな言葉
favorite word
「家族」
中井 茂至
事務部 医事課



地域に根ざしている点ですね。近隣の方にとってホームドクターのような、親しみの持てる病院だと思います。もともとこの近くで育ち、家族も昔からお世話になっているんですよ。受付に立っていると、知り合いから声を掛けられることも多く、励みになります。転職してきて間がなく、まだ戸惑うこともありますけど、どんな場面でも臨機応変な対応ができるような能力を付け、近所の方々にも頼ってもらえるようなスタッフになりたいです。

第1回京都九条病院 病診・病病連携セミナー

主催 京都九条病院



多くの方々にご参加頂き、誠にありがとうございました。



平成18年12月9日(土)、京都九条病院および他病院・診療所の医師、地域医療担当者約100名を集めて、「第1回京都九条病院 病診・病病連携セミナー」を京都東急ホテルにて開催しました。

これは、京都九条病院と地域の診療所や病院との連携、また当院のスタッフ同士の連携を促進し、地域の医療サービスを充実させていくことを目的にしたものです。患者さんによりよい医療を提供するためには、一番適切な治療を行える病院を紹介し合う、またその患者さんについての情報を共有し合うなど、それぞれの医療施設の垣根を越えた連携が必要で、そこで、第一回の今回は、京都九条病院のことをもと知ってもらったために当院の紹介を行い、医療施設同士スタッフ同士の交流を図りました。

割についての話、地域医療連携室専任スタッフの道下智之社会福祉士と坂口香織看護士の紹介と挨拶、白数積雄医局長・外科部長による京都九条病院医師の紹介と続き、最後に吉野信之整形外科部長が、「人工膝関節手術」について講演を行いました。この吉野先生の講演は、他の医療施設の医師から高い関心を集め、熱心な質疑が相次ぎました。他病院の医師をはじめ当院のスタッフに対しても、このような世界的水準の手術が京都九条病院で実施されていることを改めてアピールする機会となりました。



医療法人同仁会(社団)
京都九条病院
〒601-8453 京都市南区唐橋羅城門町10
TEL / 075-691-7121・FAX / 075-692-5311
http://www.kujohp.com

医療法人同仁会(社団)
介護老人保健施設
マム フローラ
〒617-0853 京都府長岡京市奥海印寺奥ノ院25-2
TEL / 075-958-3388・FAX / 075-951-5300
http://www.dojinkai.com/mam_f/

医療法人同仁会(社団) 京都九条病院
訪問看護
ステーション・マム
〒601-8454 京都市南区唐橋経田町16
TEL / 075-661-3820・FAX / 075-661-3835
http://www.dojinkai.com/mam_s/

医療法人同仁会(社団)
同仁会クリニック
〒601-8453 京都市南区唐橋羅城門町30
TEL / 0120-558-756・FAX / 075-693-6175
http://www.do-clinic.com

京都市唐橋地域包括支援センター
京都市唐橋地域包括支援センター
介護予防支援事業所
〒601-8453 京都市南区唐橋羅城門町10
TEL / 075-692-3368・FAX / 075-692-3348
http://www.dojinkai.com/mam_s/

医療法人同仁会(社団)
介護老人保健施設
マム クオーレ
〒601-8326 京都市南区吉祥院南落合町40-3
TEL / 075-691-7755・FAX / 075-691-7765
http://www.dojinkai.com/mam_c/

医療法人同仁会(社団) 同仁会クリニック(併設)
同仁会疾病予防研究所
〒601-8453 京都市南区唐橋羅城門町30
TEL / 075-691-5070・FAX / 075-693-6135
http://www.do-clinic.com/yobo/

京都九条病院(提携)・同仁会クリニック(併設)
メディカルフィットネスクラブ SHIN-SHIN
〒601-8453 京都市南区唐橋羅城門町30
TEL / 0120-558-756・FAX / 075-672-1414
http://www.e-shinshin.com